

第 11 回教育研究審議会

議事概要

開催日:平成 30 年 9 月 26 日 (水)

場 所:本部棟 3 階大会議室

出席者: 福田誠治学長、阿毛久芳副学長、新保祐司副学長、谷内治彦事務局長、酒井利光理事、西尾理学学長補佐、平野耕一学長補佐、樋口雄人学長補佐、加藤めぐみ学長補佐、加藤敦子国文学科長、中地幸英文学科長、山本芳美比較文化学科長、寺川宏之学校教育学科長、高田研地域社会学科長、竹島達也大学院研究科委員長、野中潤図書館長(兼)情報センター長、田中昌弥教職支援センター長、竹下勝雄地域交流研究センター長、大辻千恵子国際交流センター長、豊嶋朗子語学教育センター長、市原学入学センター長、矢嶋亘総務課長、小宮文彦経営企画課長、澄川宏学生課長

欠席者: なし

■挨拶

福田誠治学長よりあいさつ

議 事

(1) 非常勤講師の発議・提案について (共通教育)

◇博物館情報・メディア論

○担当から資料 1-1、1-2 に基づき説明。提案通り承認。

- ・担当できる非常勤講師が見つかったため。
- ・第 3 条 2 項第 1 号に該当。

◇図書館基礎特論、図書館サービス特論

○担当から資料 1-1、1-3 に基づき説明。提案通り承認。

- ・担当教員が平成 31 年度に本務校のサバティカルのため。

(2) 地域交流研究センター及び COC 推進機構再編について

○担当から資料 2 に基づき説明。継続審議。

- ・地域交流研究センターの部門の 1 つに COC 部門を新たに設ける。
→COC を一体化すべきかどうかは、次回決定したい。ただし、来年 3 月までは議論を続けていき、新しいセンター規程に盛り込んでいく。
- ・資料には田んぼクラブなどの事業が載っていないので、センターで行っている事業すべてを載せてほしい。
→他にも多数事業は行っており、主要事業を列記している。
- ・都留市との連携部門は地域交流研究センターが望ましい。
(生涯活躍のまち・つる及びセーフコミュニティ等)
- ・地域社会学科の先生たちが特色を出せるような部門があってもよい。

- (3) 都留文科大学学部履修規程の一部を改正する規程（案）について
○担当から資料3に基づき説明。提案通り承認。
・備考にある「副免での履修は5年以上在籍者のみ」を削除する改正。
- (4) 都留文科大学研究に係る不正行為の防止に関する取扱規程の一部を改正する規程（案）について
○担当から資料4に基づき説明。提案通り承認。
・ガイドラインに基づき、現状の規程に不足している「研究者の責務」を新たに盛り込む。
- (5) 都留文科大学学章等規程の一部を改正する規程等（案）について
○担当から資料5-1、5-2に基づき説明。提案通り承認。
・新たに大学旗に関することを定める。
・大学ロゴ及びスクールカラーに関する規定は別に定める。
・学章及び大学旗に関する事務を、「経営企画課」から「総務課」に変更する。
- (6) 平成32年度入学者選抜要項の変更について（英文学科）
○担当から資料6に基づき説明。継続審議。
・募集人員、推薦入試の評定平均値、一般入試の試験利用教科・配点を変更する。
→推薦入試の評定平均値を下げてしまうと、受験生からの評価も下がってしまうかもしれない。
→入学センター長を中心に再度議論する。また、入試動向を分析する業者にも相談したほうがいい。
・2年前予告についても文科省に確認をする。

3 報 告

- (1) 2021年度以降 都留文科大学における入学試験について
○担当より資料7に基づき報告。
・具体的な選考方法は今年度末までに公表すればよいが、その前に方針を告知する必要がある。
→元号が変わるので、西暦に統一したほうがいい。
・英語の外部試験の導入については、今後議論していく。
・ポートフォリオについてはまだ具体的には決まっていないが、電子データで受け渡しができる方向性が好ましいとシンポジウムで説明があった。

4 その他

- 学外研究及び大学名誉教授の候補者がいれば、10月中に報告する。

5 閉 会

以上